

DTX ファイバー・モジュール

光ファイバーとツイストペア・ケーブルが混在する高速データ・ネットワークでは、設置が適切であることを保証するため、認証と複数メディアによる文書化がこれまでになく重要になっています。

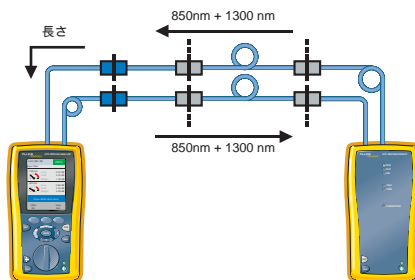
新しい DTX CableAnalyzer™ を使用すれば、今すぐ銅線およびファイバーを正確に認証することができます。搭載型ファイバー・モジュール(オプション)を提供可能なのは DTX シリーズだけです。他の光ファイバーテスト・ソリューションよりもはるかに便利で強力なこれらのモジュールは、2本のファイバー、2つの波長による試験、さらにビジュアル・フォルト・ロケータ(VFL)を統合し、認証およびトラブルシューティング能力が強化されています。ボタンを押すだけで銅線とファイバーを切り替えられるソリューションは他にありません。両方のメディア・タイプを認証できるだけでなく、驚異的な短時間で効率的に実現します。

DTX ファイバーの特長：

常駐型ファイバー・モジュールにより
必要な時にすぐに利用可能
わずか 12 秒のオートテストにより、
他のテスターに比べ作業スピードが 5 倍
LinkWare PCソフトウェアへ検査結果をアップロードすることで、Tier 1
ファイバー認証レポートを提供可能
10 Mb/s から 1 Mb/s までのアプリケーション範囲を最適化
VFL モジュール搭載によるファイバーの位置特定、連続性と極性の確認、近端の破損発見
TALK、FINDFIBER、MONITOR、双方向および単一ファイバー・テスト機能が試験をスピードアップ
さまざまな SFF(small form factor) ファイバー・コネクタをサポート

ファイバー認証を瞬時にレポート

DTX ファイバー・モジュールは、独自のテクノロジーと使いやすいインターフェースを採用したことにより、テストをさらにスピードアップします。オートテストボタンを押すと、2本のファイバーについて標準準拠の認証試験(2波長における2本のファイバー長の測定とその合否ステータスの識別)が自動的に、しかも全て12秒間で行われます。本ファイバー・モジュールにより、少ない時間でより多くのファイバーを試験できます。その結果、試験コストを削減できる上、これまで以上に他業務を多くこなすことが可能になります。場合によっては、年間で100



オートテストごとに長さとして2つの損失測定を行う他社ファイバー・アダプターと異なり、DTX は 1 回のオートテストで長さとして4つの損失測定を行う唯一のファイバー・テスト・ソリューションです。しかも 12 秒ですべてを実行します。DTX ファイバー・モジュールを使えば、ファイバー試験を他社製品よりもさらに5倍の速さで実行できます。



時間以上を節約することもできます。

銅線およびファイバーのテストが1つのボタンを押すだけで可能

DTX プラットフォームだけがオプションの本体に内蔵可能なファイバー・モジュールを提供しています。そのため、測定のたびに、いちいちファイバー・アダプターを探し回すための無駄な時間を費やす必要がありません。したがって、必要なときにいつでもファイバー認証試験を始めることができます。

完全な Tier 1 認証を実行

DTX ファイバー・モジュールは、包括的な Tier 1 認証ソリューション(損失、長さ、極性の測定)を提供します。ファイバー・リンクの性能とケーブル敷設品質を確認することができます。異なる波長で光損失を測定すると共に、さらにファイバー長も測定し極性の確認を行います。そして近端側と遠端側の装置を交換することなく、2波長、双方向でファイバーを試験します。

マルチモードおよびシングルモード・ファイバーを認証

LED 光源モジュールおよびレーザー光源モジュールは、規格に準拠した認証が可能です。VCSEL/LD モジュールは、1 G または 10 G イーサネットの品質検査用に利用できます。フルーク・ネットワークスの LinkWare PC ソフトウェアを使用して、包括的な認証レポートの保存、アップロード、管理、印刷が可能です。






代表的な仕様 *

光学仕様 (23)	
入力(メーター) コネクタ	光ファイバー・パワー・メーター(入力ポート) は交換可能なアダプター。標準で交換型の SC アダプターが添付。オプションで交換型アダプターを用意(LC, ST, および FC)
出力(ソース) コネクタ	SC アダプター(固定)
光源と公称波長	DTX-MFM: 850nm LED および 1300nm LED DTX-SFM: 1310nm FPレーザーおよび1550nm FP レーザー DTX-GFM: 850nm VCSEL および 1310nm FP レーザー
光源出力	DTX-MFM: > 20sBm, DTX-SMF/DTX-GFM: > -7dBm
長さ測定	DTX-MFM: 62.5 または 50 μm ファイバーにて < 5,000m DTX-SFM: < 10,000m(9 μm シングルモード・ファイバー) DTX-GFM: 62.5 または 50 μm ファイバーにて < 5,000m
パワーメーター・タイプ	InGaAs 検知器
パワー測定範囲	0 ~ -60dBm (1310 nm および 1550nm) 0 ~ -52dBm (850nm)
VFL 仕様 (23)	
光源と公称波長	ClassII CDRH, 650nm
出力モード	持続波、点滅モード
コネクタ・アダプター	2.5 mm ユニバーサル
環境条件	
操作温度	0 ~ 40
保管温度	-20 ~ 60
安全性:	CE, CSA, EN 61010-1
一般仕様	
寸法(長さX奥行きX幅)、公称値	106mm x 76mm x 28mm
重量(公称値)	0.14kg

* 上記の仕様は予告なく変更する場合があります。

オーダー情報

モデル名	詳細
DTX-MFM2 	DTX マルチモード・ファイバー・モジュール 付属品: 2 個のモジュール(メインおよびスマート・リモート用) 1 つの出力ポートに 850nm および 1300nm LED 光源を複合 850/1300/1310/1550 nm パワー・メーター 内蔵型 VFL
DTX-SFM2 	DTX シングルモード・ファイバー・モジュール 付属品: 2 個のモジュール(メインおよびスマート・リモート用) 1 つの出力ポートに 1310nm および 1550 nm FP レーザー光源を複合 850/1300/1310/1550 nm パワー・メーター 内蔵型 VFL
DTX-GFM2 	DTX ギガビット・マルチモード・ファイバー・モジュール 付属品: 2 個のモジュール(メインおよびスマート・リモート用) 1 つの出力ポートに 850nm VCSEL 光源および 1310nm の レーザー光源を複合 850/1300/1310/1550 nm パワー・メーター 内蔵型 VFL

障害をより早く検出

モジュールに統合された可視光源(VFL)により、リンクのトラブルシューティングが短時間で驚くほど簡単に実行できます。可視光源であるレーザー光源を備えた VFL は、多くの近端のファイバー障害検出を容易にし、接続性と極性の確認にも利用できます。フルーク・ネットワークス独自の内蔵型設計であればこそ、いつでも必要に応じた VFL の利用が可能です。



フルークネットワークスは Network SuperVision を提唱します

フルークネットワークスはメタルおよびファイバー・ケーブル・システムのテストに関して革新的なネットワーク SuperVison ソリューションを提供します。DTX CableAnalyzer にこれらの強力なモジュールを追加するだけで、今日および将来においてコンパクトな現場用テスターでファイバー敷設に関するトラブルシューティングや文書化が可能となります。

NETWORK SUPERVISION

Fluke Networks
P.O. Box 777, Everett, WA USA 98206-0777

さらに詳しい情報については下記にお問い合わせください:

フルーク・ネットワークス
株式会社 フルーク

本社:
〒105-0012 東京都港区芝大門2-2-11 泉芝大門ビル
TEL 03-3434-0510 FAX 03-3434-0172
大阪営業所: 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋2-3-10
TEL 06-6229-0671 FAX 06-6229-1098

Web サイト: <http://www.flukenetworks.com/jp>

©2006 Fluke Networks Inc. All rights reserved.
Printed in Japan. 12/2006 2131174 D-JPN-N Rev C